

# 令和2年度 岐阜県幼児教育推進会議（第1回）会議録

日時： 令和2年11月9日（月） 午後2時00分～午後4時00分  
場所： 岐阜県総合教育センター

## 1 事務局挨拶 岐阜県教育委員会 学校支援課 教育主管

- ・ 幼児教育に関わって、質の高い教育・保育について、「第2次岐阜県幼児教育アクションプラン」の実施状況、各園の実践状況、今後の在り方についてご意見賜りたい。

## 2 委員紹介

## 3 会長選出・挨拶

- ・ 幼児期のふさわしい時期に「ふさわしいものを与えること」が幼児教育の理念である。この理念に則った推進会議としたい。

## 4 本推進会議設置目的・趣旨の説明

- ・ 「第2次岐阜県幼児教育アクションプラン」の実践状況を総括し、令和3年度末までに「第3次岐阜県幼児教育アクションプラン」の作成し、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした新たな課題に対応しつつ幼児を健やかに育むよう、幼児教育実践の質の向上を図る。

## 5 協議事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策と顕在化した課題への対応策について

#### 【事務局より】

- ・ 教育支援体制整備事業費交付金の活用状況 (学校支援課、私学振興・青少年課)
- ・ 保育所等におけるマスク購入等の感染拡大防止対策に係る支援 (子育て支援課)
- ・ コロナ禍における家庭教育支援 (環境生活政策課)
- ・ 「感染症対策に配慮した幼保・小連携の在り方」の提案 (学校支援課)
- ・ 幼稚園、保育所、認定こども園、家庭や地域における幼児教育の現状と課題

#### 【協議】

- ・ 委員：公立幼稚園では、新型コロナウイルス感染症対策として、集合型の会議や研修が実施できていない。そのような中でも、各園が工夫している。ただ、生活を整えることやつながりを続けるための保護者の不安もかなり大きくなっている。
- ・ 委員：保育園や認定こども園においても、2か月近い休園期間があったが、それはかつてないことだった。そんな中、インスタグラムを活用したり、ZOOMを使って研修をしたりするなど、さまざまな連絡体制を整えて各園や保護者とのつながりをもってきた。また、今までは生活の中で子どもたちが興味関心をもったことについて体験できていたが、今は、受け入れ側の厳しさもあり、限定されてしまっており、できる範囲で活動を徐々に再開している状況である。
- ・ 委員：ZOOMの会議にしても、その他の遠隔の手段にしても、そういった設備の整備が必要であるが、それがなかなか進んでいかない。
- ・ 事務局：ICT環境について、小中学校においても「GIGAスクール構想」により、一人一台端末に向けて準備を進めている。その中で、何とかオンラインでの研修ができる体制を作ろうとしている。市町村に対して、環境整備を働きかけていく。

(2) 質の高い幼児教育・保育の実践の根拠となる保育者の専門性の向上・キャリアアップについて

【事務局より】

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| ・研修の状況<br>・保育者の現状と課題 | (教育研修課、特別支援教育課、学校支援課、子育て支援課) |
|----------------------|------------------------------|

【協議】

- ・委員：幼稚園では、これほどまでに先生方が研修しづらい環境におかれていることを、園長になって感じている。常に命に向き合っている中、外部での研修が用意されていても、なかなか先生方を外出させてあげられない。園内で共有しようとしても、そうした時間すらとれない。このような中で、どのように教育の資質向上を図っていくのかが、大きな課題である。
- ・委員：こども園では、教育委員会の研修を受けることができている。ただし、参集型の研修はできなかったため、新採の先生方にとっては、同期の仲間との心が休まる話や心のケアとなる時間が縮小されている現状である。改めて集合型の研修が大切であることが分かった。

(3) 「第2次岐阜県幼児教育アクションプラン」の実施状況の総括と、「第3次岐阜県幼児教育アクションプラン」の作成について

【事務局より】

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ・実態調査の項目（素案）及び、作成スケジュールの概要 | (学校支援課) |
|----------------------------|---------|

【協議】

- ・委員：今後実態調査を行っていくということであるが、今年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの保育活動が行えていない。そのため、実態調査については、コロナ禍であることも鑑みて検討できればいい。
- ・委員：アクションプランの説明を伺い、調査項目の中に回数を問うものがあるが、回数ではなく、成果や課題を記載できるようになるとよい。

(4) その他

【事務局より】

- |                     |
|---------------------|
| ・第2回岐阜県幼児教育推進会議について |
|---------------------|

【協議】

- ・委員：コロナ禍の中で、いよいよ「何を子どもたちに教えるのか」を考える必要がある。我々の想像力が試されている。オンラインでは、確かに相手の顔が見える。しかし、その思いをくみ取っていかなければならない。ここにきて、幼児教育として何をこそ大切にしていくなのかを考えていきたい。県としても様々に取り組んでいるが、私たちも実践を基に考えていく必要がある。

6 事務局挨拶 岐阜県教育委員会 学校支援課 教育主管

- ・積極的な協議に対してのお礼  
協議いただいた内容を踏まえて、今後の取組みに活かしていく。